

●つばきこども園

いっぱい遊ぼう！ 笑顔ひろがる つばきっず

開園して1年がたち、新しい友達との間に仲間意識も芽生え始めています。上記テーマのもと、安心・安全な保育環境、また、さまざまな体験活動ができるよう環境を整えています。一人ひとりに寄り添う温かな関わりのもと、豊かな自然の中で生活や遊びを充実させ、夢中になって遊ぶ園児の育成をめざしています。新しい地域の中に根づく笑顔いっぱいのこども園になるよう活動を進めます。



●かえでこども園

豊かな環境の中でつながりながら
夢中になって遊び込む子どもをめざして

子ども一人ひとりを温かく見守り、その子らしさを受け止めながら、子ども主体の保育を心掛けています。子どもたちの心ときめく、心動かす体験や経験活動を大切に捉え、五感を通した直接体験の中から、探究心や好奇心、人とつながる喜びや楽しさ、たくましい身体と豊かな心を育てていきます。



●のだがわこども園

もっとやりたい、こうしてみたいと思うことを
実現するために

試行錯誤を繰り返しながら上記の実現をめざし、活動しています。分からないことを知りたいと思って自ら調べてみたり、分かったことを友達や先生に伝えたいと思ったりすることで、主体的な活動や人とのつながりを育てています。また、毎日の生活の中で、異年齢での関わりも広がり、小さい友達に優しく関わったり教えてあげたりすることで、頼られることがうれしく自信につながっています。



2 園小中連携の取り組みについて

加悦・江陽・橋立中学校校区では小中連携はもとより、こども園、保育所などと小学校との円滑な接続を図り、子どもの育ちをしっかりと支援する体制づくりを重視しています。幼児期に育むことが重要とされる「学びの芽」は遊びの中で生まれ、「非認知能力」という言葉で取り上げられることもあります。非認知能力は、コミュニケーション能力や自尊心、社会性などを含み、学業や仕事など子どもの将来にも影響すると言われています。大人が寄り添い、

見守り、認めたり励ましたりすることはもちろんのこと、子どもの何気ない気づきや発見、驚きを一緒に感動するなど、子どもの思いや行為を価値づけることで学びの芽は育まれます。

園での遊びの中にどんな学びの芽が育っているか、家庭でのどんな場面に学びの芽があるか、教育・保育と家庭での関わりが両輪となって、明日を担う子どもたちと一緒に育むことが大切です。



●岩滝小学校

意欲を高め、主体的・対話的な学習を通して
学び合い伝え合う授業づくり

令和4年度から算数科を重点教科とし自分の考えを伝え合い、学ぶ楽しさを感じながら課題解決していく「課題解決型学習の研究」を進めています。単元や授業の導入を工夫することで児童の意欲を高め、児童が学習課題を自分ごととして捉え、互いに自分の意見や考えを相手に伝えるように表現できる力の育成をめざしています。



●三河内小学校

気づきを行動につなげ、生き生きと学ぶ子どもをめざして

週に1回「みごっこタイム」として、遠望視や本校独自のストレッチを行っています。健康や安全に対する関心を高め、課題に気づき解決に向けて取り組んでいく自己決定の過程を大切にしています。楽しい活動を取り入れながら健やかな体の維持・向上をめざしています。



●市場小学校

よく考え、自ら学ぶことを楽しむ児童の育成

「もっとやってみたい」意欲を引き出す授業をめざしています。児童が主体的に活動できる場面を計画的に組み込んでいます。タブレット端末を個々の気づきや考えを広げたりつないだりする道具として、楽しみながら使っています。



●山田小学校

話と輪（わわわ）集会

月に1度、各児童委員会が主催する話と輪集会では、委員会が考えた企画とみんなが心穏やかに輪になって何でも話せるトークタイムの時間をもっています。放送委員会や図書委員会、給食委員会の取り組みなど、ワクワクを共有することで77人のつながりが深まります。



●石川小学校

人との関わりの中で成長しています

令和4年度は感染対策を十分に行った上で、いろいろな方との関わりを大切にしています。地域の方から昔の遊びやお琴、習字などを教えていただいたり、稲作体験や有機農法の見学、石川うどん体験を行ったりして地域のよさを改めて実感することができました。また、宮津天橋高校加悦谷学舎生徒とのスポーツ交流や遊びの交流を通して、自分の将来像を描く機会にもなりました。

